

S.G. Report

平成30年度 1年夏季研修 北九州学術研究都市

今年度は1年生全員を対象に夏季研修の希望を取り、154名の生徒がそれぞれ希望するところで1泊2日～2泊3日の研修を行いました。8月1日（水）～3日（金）に9名の生徒が北九州学術研究都市へ以下の日程で研修に行きました。

【研修日程】

≪1日目≫

- 13:30～ 開校式
- 13:40～ 研修① 北九州学術研究都市の概要説明など（英語版PPT）
- 14:00～ 研修② 北九州学術研究都市ツアー
*共同開発研究センター、自動車開発センター、ロボット開発センター等
- 15:15～ 研修③ 留学生とのグループ交流Ⅰ
*自己紹介、アイスブレーキングゲーム、国際学生の国の紹介、大学生活紹介、課題研究に関する質問など
- 17:00～ 宿泊施設へ移動、夕食、入浴
- 19:30～ 研修④ 1日の振り返り、翌日の準備

≪2日目≫

- 8:15～ 朝食、移動
- 9:30～ 研修⑤ 留学生との交流
*国際学生の国の紹介、大学生活紹介。学生は約20分ごとにグループを移動。
課題研究に関する質問等
- 10:30～ 研修⑥ フリーインタビュー準備
*ポスタープレゼンに向けてのデータ収集を兼ねたフリーインタビューの準備
- 11:30～ 昼食（留学生も一緒に食事）
- 12:30～ 研修⑦ フリーインタビュー・留学生への質問・ディスカッション
- 14:15～ 研修⑧ 国際学生によるモデルプレゼンテーション（5分～10分）
*研究活動について
- 15:15～ 研修⑨ ディスカッション・まとめ
*各自交流で学んだ内容をまとめ、翌日の発表の準備を行う。
国政学生はいずれかの生徒に固定で英語のサポートに当たる
- 17:30～ 移動、夕食、入浴
- 19:30～ 研修⑩ 1日の振り返り、翌日の準備

≪3日目≫

- 8:15～ 朝食、移動
- 9:30～ 研修⑪ 各生徒による英語プレゼンテーション発表
*各生徒が設定したテーマに沿った発表（発表5分+質疑応答3分）
留学生よりコメント
- 11:30～ 昼食
- 12:30～ 閉校式

【生徒感想】（おおむね原文のまま）

●今回の研修は私にとって試練だった。なぜなら、私は英語が全くしゃべれないからだ。しかも、私とペアになった留学生はまだ日本に来て日が浅く日本語がほとんど分からないし、インドネシア出身で英語の発音が聞き取りにくかったため、私は知っている限りの単語を並べてなんとか自分の気持ちを伝えるのに必死、役に立ったのはミュージカルで鍛えたコミュニケーション能力だった。理解できない時は分からないとはっきり伝えたり、今自分が何をしたいのかダイレクトにいう事でなんとか乗り切ることができた。留学生はとても優しく、英語が苦手な私のためにスペルを一文字ずつ教えて辞書を引かせてくれ、最後の発表の際も、私が何を言いたいのか一生懸命理解して、レイアウトを書く内容を決めてくれた。インタビューでは色々な国の人たちの話が聞け、女性の結婚と労働の問題の背景からその国の考え方等が分ってとても面白かった。発表の準備は大変で、ホテルで一睡もせず朝まで応用紙にまとめたり、原稿をつくったり、話し方の準備に追われ、竹原先生にも早朝から、原稿の添削をしていただいた。本当に感謝している。そして発表。緊張しながらも何とか笑顔でやりきることができ、質問も日本語訳してもらいながら原稿の言葉を組合せながら答えた。たくさんの人たちの支えで結果は7位だった！これからはこの経験を自信と糧にして、もっと英語をしゃべれるようになりたいと強く思った研修だった。（9組 女子）



●プレゼンテーションを全て英語ですると知った時、絶対無理だと思った。ポスターの内容も全く思いつかない、しかも英語で全部書くなると、2日目の夜は眠れなかった。でも3日目に留学生の方からアドバイスをいただきながら、緊張もせずに発表を終えることができた。留学生の方と話すとき、とてもゆっくり話して下さって、何度も聞き返しながら会話を成立させることができた。慣れるとだんだん会話するのが楽しくなり、恥ずかしがらずにハキハキと話せるようになった。原稿を考える時も留学生からの確にアドバイスをいただき、内容や構成も改善できたし、今後の英語の学習に役立つことがたくさん聞けた。今まで授業でも私生活でも物事をはっきり伝える事が苦手で、思っている事も言わないことが多かったけれど、伝わった時は本当にうれしくもっと話したいと思えたので、この研修の経験を生かしていきたいと思った。（10組 男子）

●僕は、研修に行く前に留学生と会話することに対して不安だった。英文を書いたりするのは得意な方だが、人と英語で話すのは得意ではないし、聞き取るのも苦手。だからこの研修で上手くいくのか、プレゼンの準備もできていないし、英語で発表というのは本当に自信がなかった。留学生と話す場面ではジェスチャーを巧みに使ってコミ



ュニケーションを図ることができて、とてもうれしかった。聞き取れない英語は留学生がゆっくり話してくれ、たまに日本語で話してくれたりなどとても話やすい環境だったので気軽に話すことができて本当によかった。プレゼンの準備の時も一緒に手伝ってくれて本当に助かったし、より内容が充実したものにできてよかった。僕はこの研修を通して、英語で外国人と話しコミュニケーションをとるのがとても難しいものだという認識を持っていた。しかし、今はグローバル化が進み、英語に触れないというのが逆に珍しいというような時代になっている。そんな中、僕たちは将来のためにリスニング力やスピーキングの能力を高めないといけないと思う。今回は研修の内容が本当に充実していて、とても行く価値があつものだった。これからの生活でこの研修で学んだ事をいかしていこうと思う。(9組 男子)

●私は今回の研修でたくさんのことを学びました。私はこの研修に申し込んだにも関わらず英語がとても苦手で相手の留学生とうまくコミュニケーションがとれるかとても不安でしたが、カタコトの英語とボディーランゲージでなんとかかなり、英単語や文法などの知識面でたくさんのもも学びました。ポスターセッションのポスターの構成についても題名、小見出し、普通の文章のフォントの大きさの割合、全体的な空白の作り方などを学びました。この研修前までは、ポスターを書く機会も少なく、構成を考えることもなかったので一年のこの時期に学ぶことができよかったです。今回、AIを専攻している留学生に話を聞くことができました。プログラム言語について詳しく教えていただき、熱く語ってくれたけれど私にはさっぱり分かりませんでした。もう一人 AI について話ができる教授の留学生がいて、SFなどでよく見る AI は人間の手を離れて活動できるようになって人間を排除するようなシチュエーションが実際に起こるかもしれないと言っていました。面白い話をしてくれた留学生に親近感が湧きました。この研修に参加して多くの経験ができました。次にこのような機会があるのなら海外に行ってみたいと思います。(10組 男子)

